

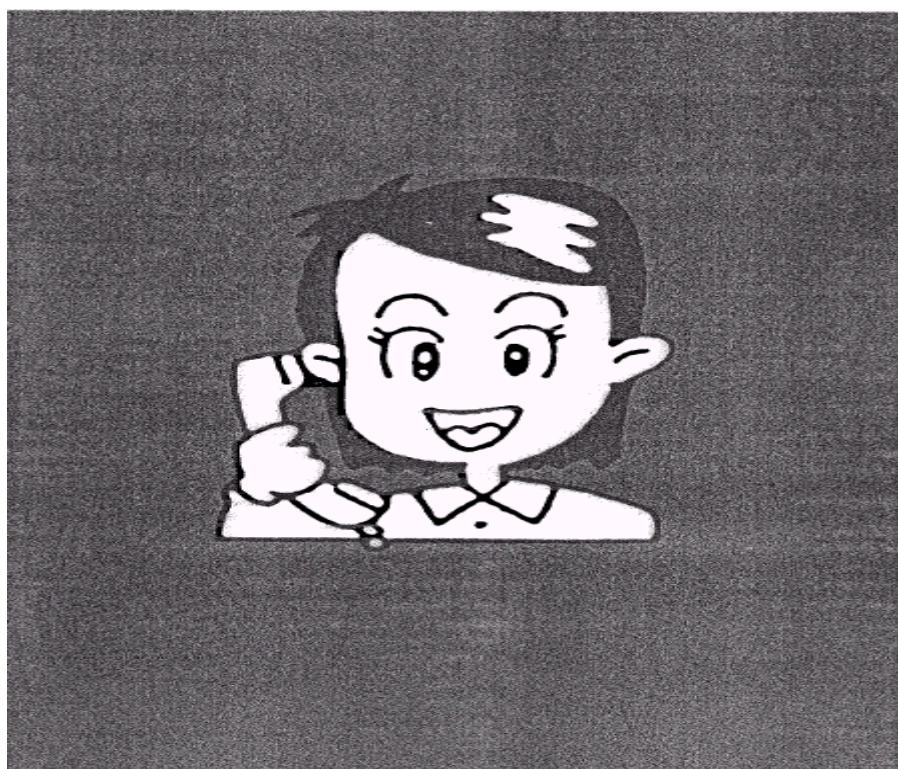
日立デジタル電子交換機 CX8000シリーズ

S M1 M2

可変短縮ダイヤル登録説明書 ダウンロード版

可変短縮ダイヤルを、各電話機から登録する内容について説明します。

- ・この説明書は、「取扱説明書」の内容から、個人短縮ダイヤル登録、個人短縮ダイヤル名称登録について抜粋したダウンロード版の説明書です。
- ・内容をよくお読みになり、内容を理解してからお使いください。
- ・お読みになったあとも、大切に保管しいつでも見られる場所に置いてお使いください。



登録操作

★操作はすべて受話器を置いたまま行います。

可変短縮ダイヤルに登録するとき

短縮ダイヤルは、全内線が共通で使うシステム短縮ダイヤルと、システム短縮ダイヤルとは別枠で使える可変短縮ダイヤルがあります。
可変短縮ダイヤルには、グループを組んだ中でだけ使えるグループ用と、各内線が独自に使える個人用があります。これはどちらか選択です。

販売店に確認してください

システム短縮ダイヤルの場合

1. 発信操作方法は①②③のどれになっているか。設定によって複数利用することもできます。
2. 登録相手先の最大数はいくつか。最大数によって短縮番号の桁数(×××)が変わります。

可変短縮ダイヤルの場合

1. 利用できるのは、グループ用か個人用か。どちらか選択になっています。
2. 発信操作方法は①②③のどれになっているか。
3. 登録相手先の最大数はいくつか。最大数によって短縮番号の桁数(××)が変わります。

		短縮ダイヤル	
		システム短縮ダイヤル	可変短縮ダイヤル
			グループ用 個人用
発信操作	①	短縮 + ×××	① 短縮 + ××
	②	短縮 + # + ×××	② 短縮 + # + ××
	③	短縮 + * + ×××	③ 短縮 + * + ××
下線の部分が短縮番号です。登録のとき、 <u>#</u> 、 <u>*</u> も一緒に入力してください。			
短縮番号	<ul style="list-style-type: none"> ● 短縮番号の桁数は最大相手先登録数によって変わります。 (例) ■10件のとき : <u>0</u> (1件目) ~ <u>9</u> (10件目) ■100件のとき : <u>00</u> (1件目) ~ <u>99</u> (100件目) ■1000件のとき : <u>000</u> (1件目) ~ <u>999</u> (1000件目) ※システム短縮ダイヤルは、最大1000件です。 ※可変短縮ダイヤルは、最大100件です。 		

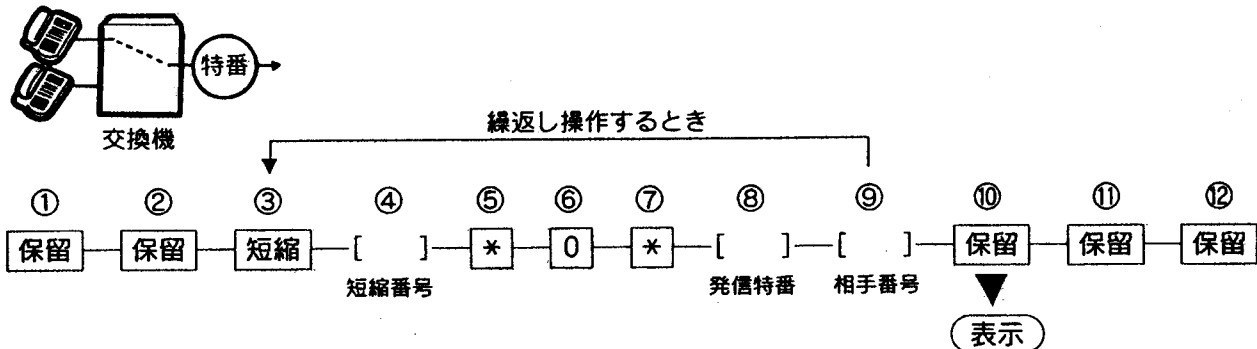
1 グループ可変短縮ダイヤル

グループ内に設置されている特定電話機から操作します。
 ▼マークの時点で操作した内容が表示されます。

登録

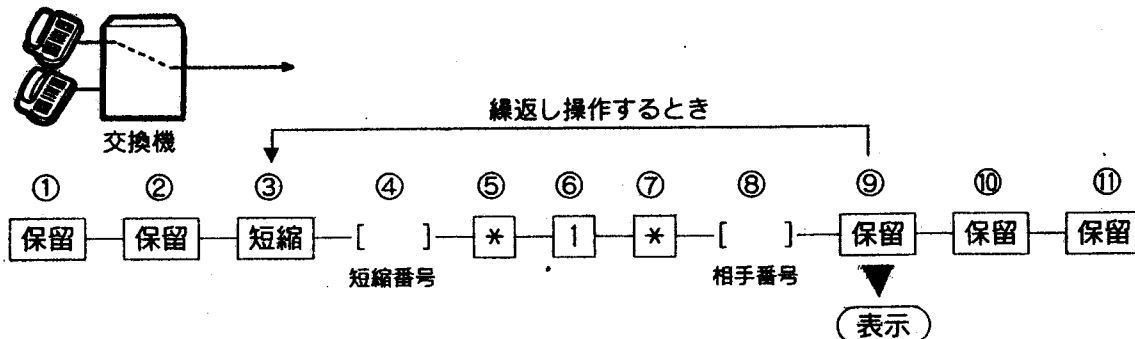
1 かけるときに特番が必要な場合

(【例】外線発信特番・LCR発信特番・専用線発信特番など)



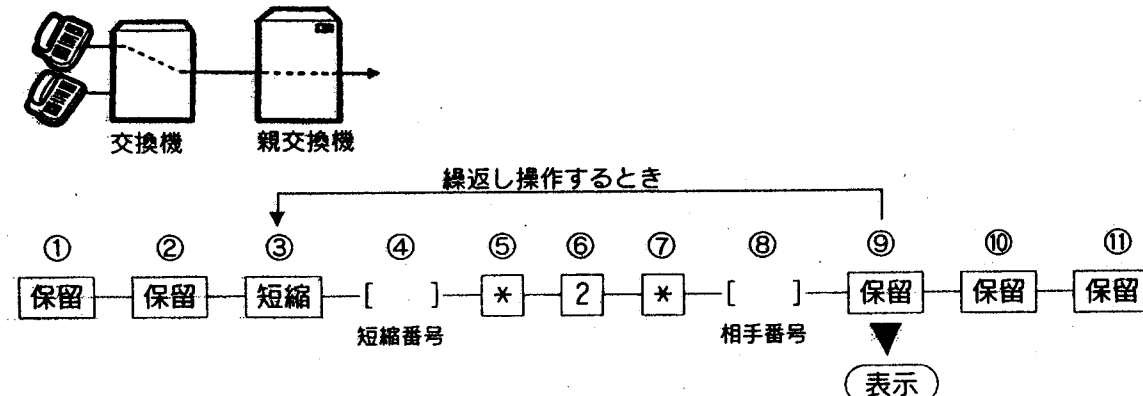
- 操作④への入力は、発信操作 P.2 によっては短縮番号の前に $\#$ または $*$ を入力することになります。
- ポーズが必要な場合は \diamond ボタンを押します。ポーズも桁数に含まれます。
- 新しい番号を入力すると前の番号は自動的にクリアされます。

2 外線に直接かけられる場合



- 操作④への入力は、発信操作 P.2 によっては短縮番号の前に $\#$ または $*$ を入力することになります。

3 親交換機を通してかける場合

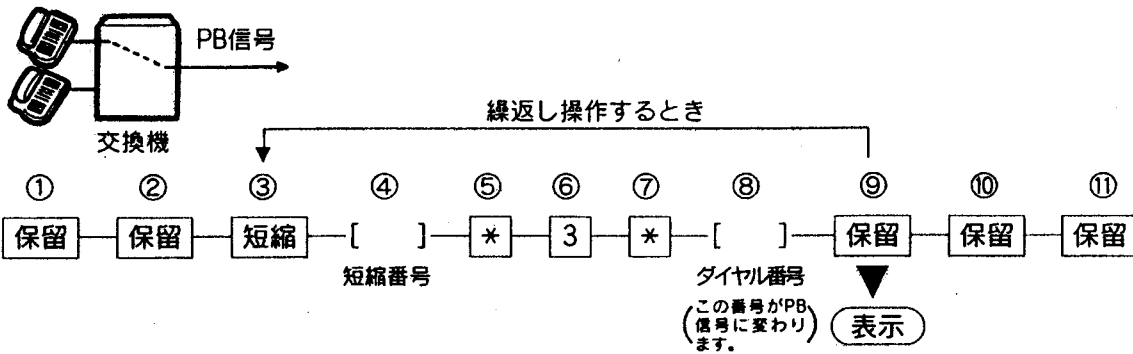


- 操作④への入力は、発信操作 P.2 によっては短縮番号の前に $\#$ または $*$ を入力することになります。

登録操作 (つづき)

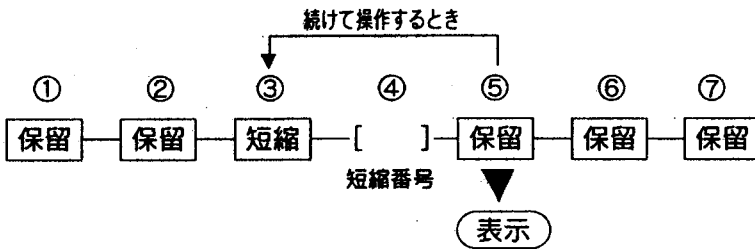
4 通信中の状態からPB信号を出す場合

(【例】音声メールなどへのアクセス)



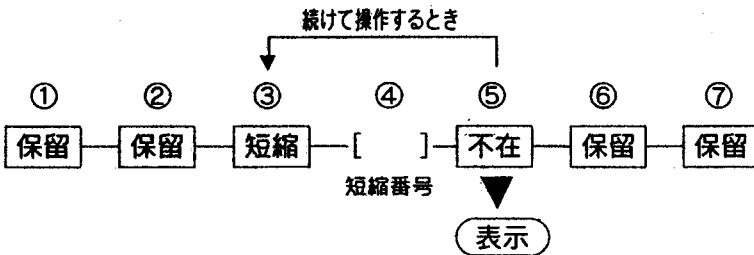
● 操作④への入力、発信操作 P.2 によっては短縮番号の前に#または*を入力することになります。

確認



● 操作④への入力、発信操作 P.2 によっては短縮番号の前に#または*を入力することになります。

取消



● 操作④への入力、発信操作 P.2 によっては短縮番号の前に#または*を入力することになります。

2 個人可変短縮ダイヤル

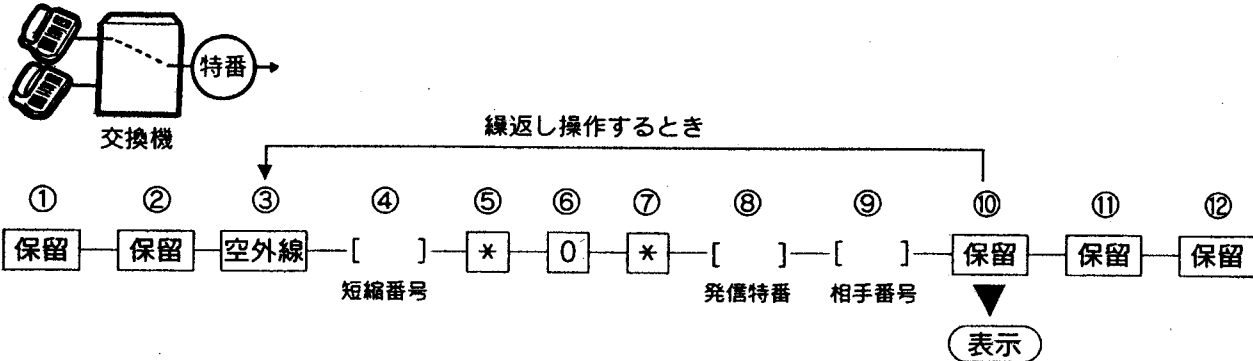
各内線から操作します。

▼マークの時点で操作した内容が表示されます。

登録

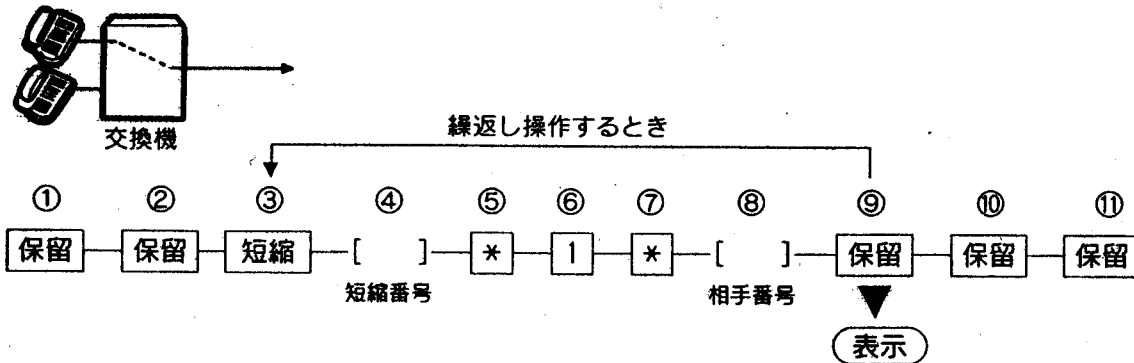
1 かけるときに特番が必要な場合

(【例】外線発信特番・LCR発信特番・専用線発信特番など)



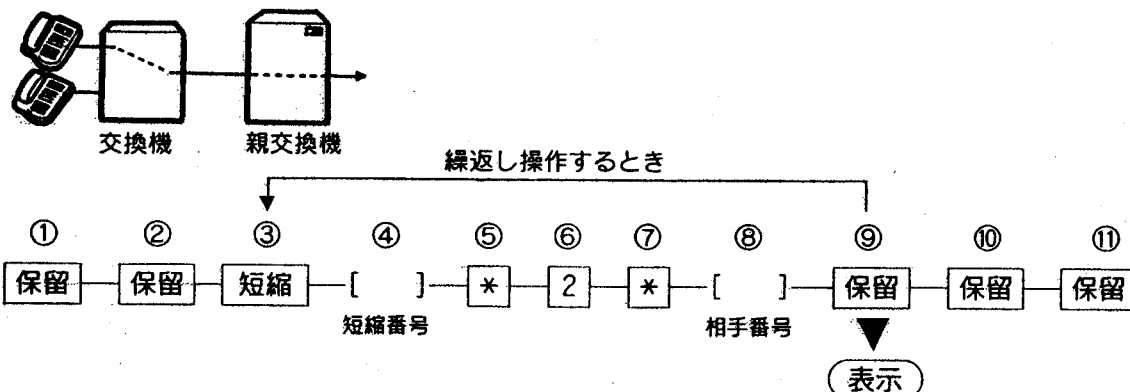
- 操作④への入力は、発信操作 P.2 によっては短縮番号の前に#または*を入力することになります。
- ポーズが必要な場合は◇ボタンを押します。ポーズも桁数に含まれます。
- 新しい番号を入力すると前の番号は自動的にクリアされます。

2 外線に直接かけられる場合



- 操作④への入力は、発信操作 P.2 によっては短縮番号の前に#または*を入力することになります。

3 親交換機を通してかける場合

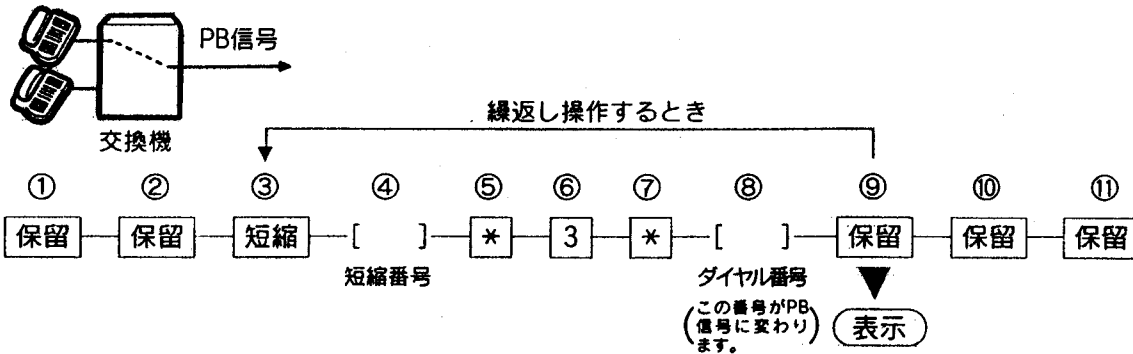


- 操作④への入力は、発信操作 P.2 によっては短縮番号の前に#または*を入力することになります。

登録操作 (つづき)

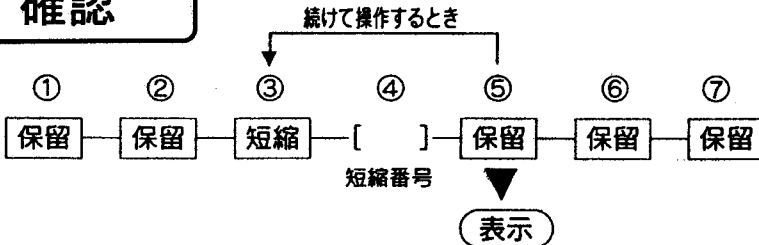
4 通信中の状態からPB信号を出す場合

(【例】音声メールなどへのアクセス)



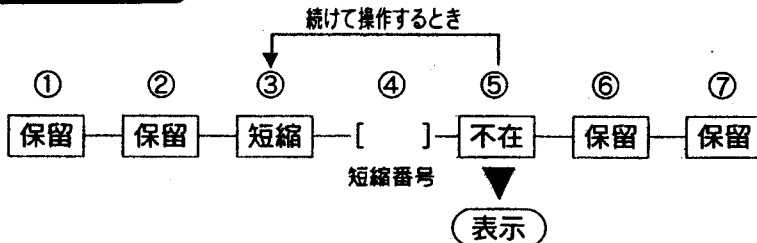
- 操作④への入力は、発信操作 P.2 によっては短縮番号の前に#または*を入力することになります。

確認



- 操作④への入力は、発信操作 P.2 によっては短縮番号の前に#または*を入力することになります。

取消



- 操作④への入力は、発信操作 P.2 によっては短縮番号の前に#または*を入力することになります。

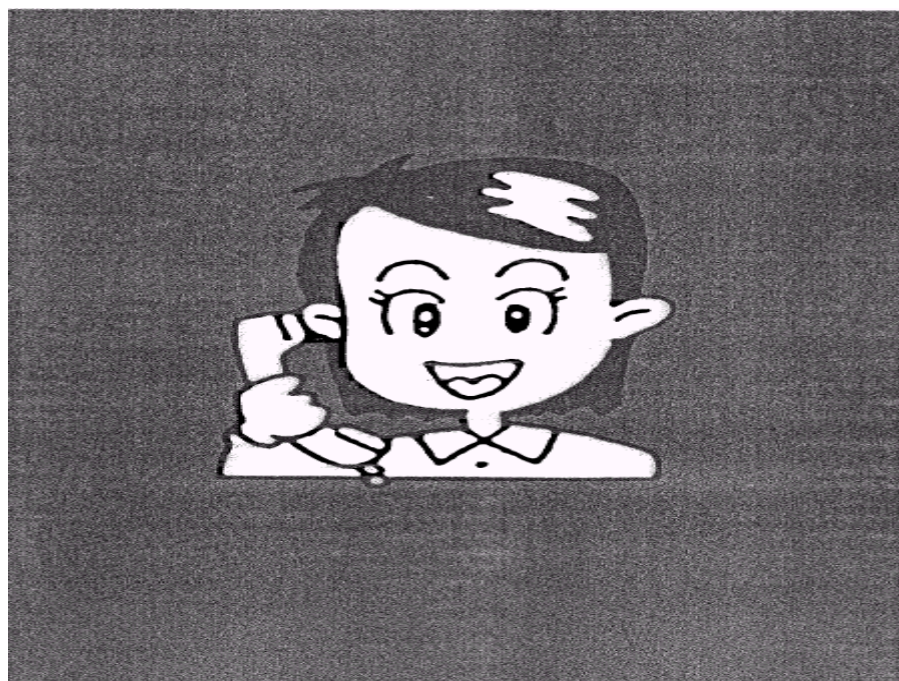
日立デジタル電子交換機 CX8000シリーズ

S M1 M2

特定電話機説明書ダウンロード版

特定電話機とは次の項目について登録できる電話機です。

- ・日付・時刻登録
 - ・システム短縮ダイヤル登録
 - ・システム短縮ダイヤル相手名称の登録
- ・この説明書は、「取扱説明書」の内容から、特定電話機からの登録について抜粋した
ダウンロード版の説明書です。
- ・内容をよくお読みにになり、内容を理解してからお使いください。
- ・お読みにになったあとも、大切に保管しいつでも見られる場所に置いて
お使いください。



登録操作

★操作はすべて受話器を置いたまま行います。

特定電話機とは

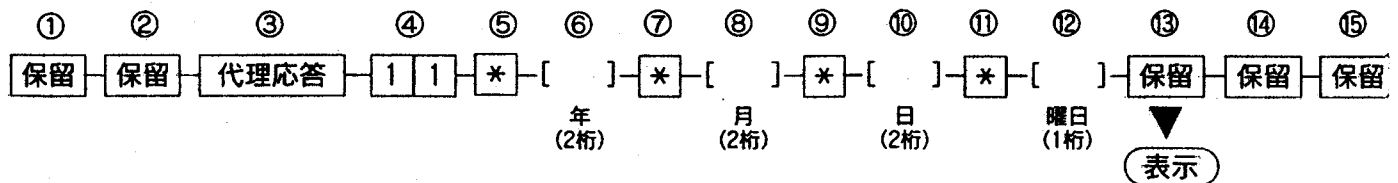
通常の電話機能以外に次の項目について操作できます。

- 1 日付の設定
- 2 時刻の設定
- 3 システム短縮ダイヤルの登録

特定電話機は、販売店が設置します。内線番号と台数を確認してください。



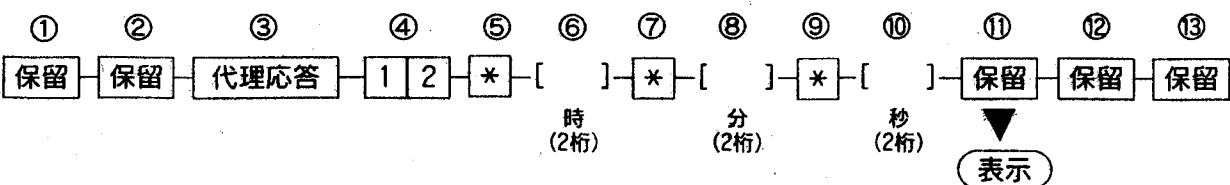
日付を設定するとき



●操作⑫への入力

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7

時刻を設定するとき



システム短縮ダイヤルに登録するとき

短縮ダイヤルは、全内線が共通で使うシステム短縮ダイヤルと、システム短縮ダイヤルとは別枠で使える可変短縮ダイヤルがあります。
 可変短縮ダイヤルには、グループを組んだ中でだけ使えるグループ用と、各内線が独自に使える個人用があります。これはどちらか選択です。

販売店に確認してください

システム短縮ダイヤルの場合

1. 発信操作方法は①②③のどれになっているか。設定によって複数利用することもできます。
2. 登録相手先の最大数はいくつか。最大数によって短縮番号の桁数(×××)が変わります。

可変短縮ダイヤルの場合

1. 利用できるのは、グループ用か個人用か。どちらか選択になっています。
2. 発信操作方法は①②③のどれになっているか。
3. 登録相手先の最大数はいくつか。最大数によって短縮番号の桁数(××)が変わります。

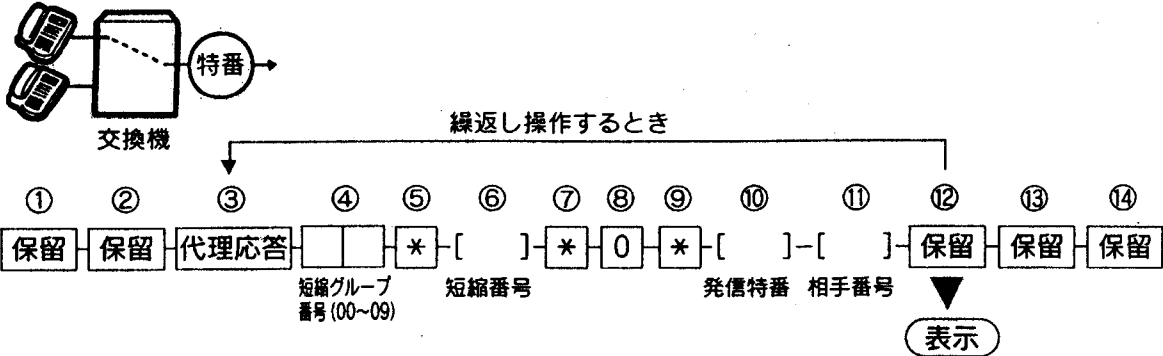
		短縮ダイヤル	
		システム短縮ダイヤル	可変短縮ダイヤル
			グループ用 個人用
発信操作	①	<u>短縮</u> + ×××	① <u>短縮</u> + ××
	②	<u>短縮</u> + # + ×××	② <u>短縮</u> + # + ××
	③	<u>短縮</u> + * + ×××	③ <u>短縮</u> + * + ××
下線の部分が短縮番号です。登録のとき、#、*も一緒に入力してください。			
短縮番号		● 短縮番号の桁数は最大相手先登録数によって変わります。 (例) ■ 10件のとき : <u>0</u> (1件目) ~ <u>9</u> (10件目) ■ 100件のとき : <u>00</u> (1件目) ~ <u>99</u> (100件目) ■ 1000件のとき : <u>000</u> (1件目) ~ <u>999</u> (1000件目) ※システム短縮ダイヤルは、最大1000件です。 ※可変短縮ダイヤルは、最大100件です。	

登録操作 (つづき)

登録

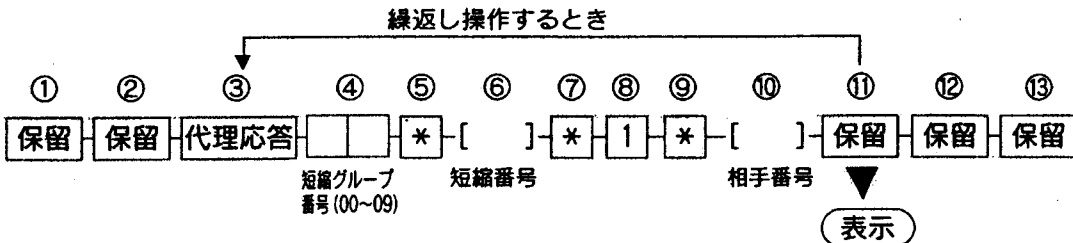
1 かけるときに特番が必要な場合

(【例】外線発信特番・LCR発信特番・専用線発信特番など)

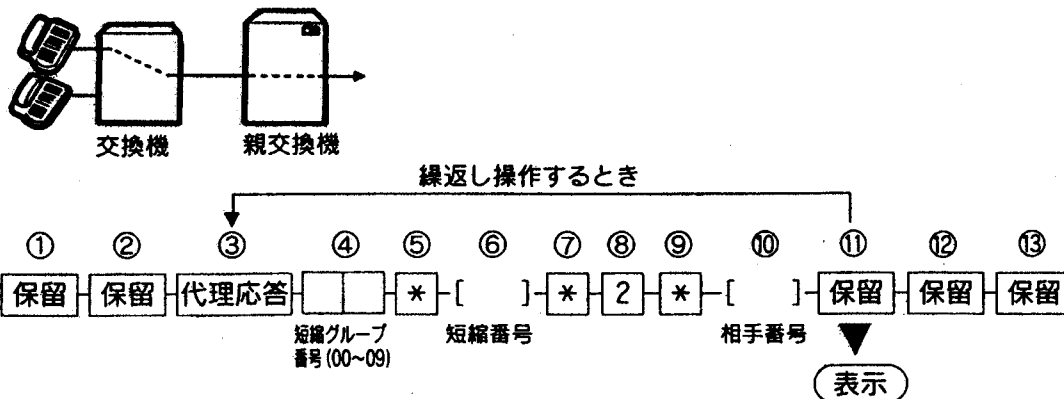


- ポーズが必要なときは ボタンを押します。ポーズも桁数に含まれます。
- 新しい番号を入力すると前の番号は取り消されます。

2 外線に直接かけられる場合



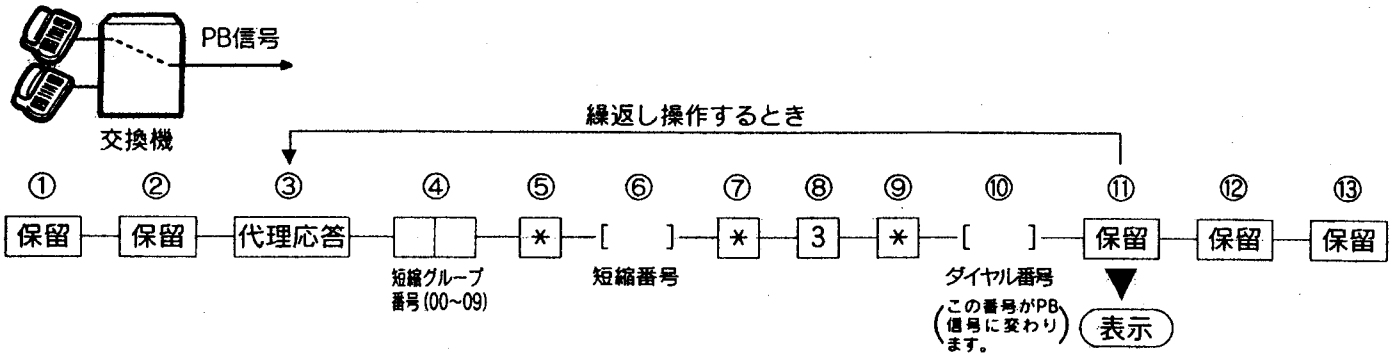
3 親交換機を通してかける場合



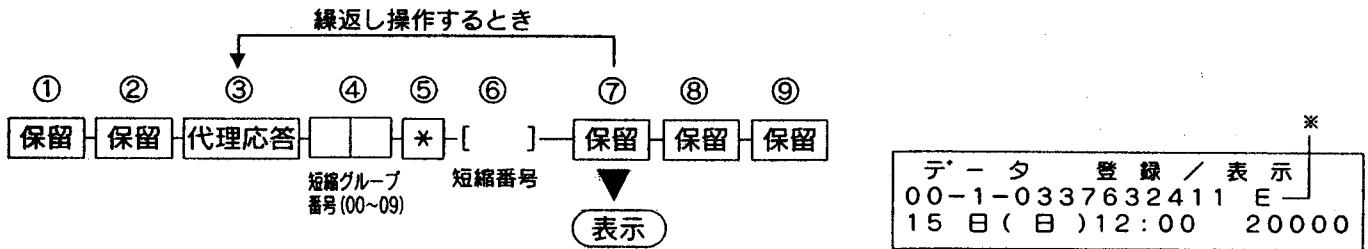
- 操作⑩は、相手が内線のときは内線番号、外線のときは親交換機の外線発信特番+相手番号になります。

4 通話中にPB信号を出す場合

(【例】音声メールなどへのアクセスなど)



確認



● 操作⑦の表示で、※部が「-」マークの場合は、登録内容が一度に表示できないときです。このときは **転送** ボタンを押してください。残りの内容が表示されます。

取消

